

シルバーたいとう センターだより No.132

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス <http://www.taito-sc.or.jp/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成30年7月15日
会員数 938人(30年6月末日現在)

平成30年度 定時会員総会開催



6月26日(火)午後2時から、平成30年度定時会員総会が会員220名の出席(他委任状343名)を得て、生涯学習センターミレニアムホールにおいて開催されました。

佐橋理事の司会により開会され、はじめに野田沢会長から「昨年設立40周年を迎え、公益社団法人として事業に積極的に取り組んでまいりました。一昨年開始した家事援助サービスも定着するなど、着実に成果が上がり受託件数や契約金額は大幅に増加いたしました。30年度はさらに、来年度実施を目的に会員の派遣事業についても準備を進め、一層の職域の拡大に努め飛躍の年にしていく覚悟でございます。」との挨拶がありました。

続いて、当センターの名誉会長である服部征夫台東区長から「健康で意欲あふれる皆様が、地域で活動されている様子を拝見するたびに、シルバー人材センターの果たす役割は、今後増々大きくなるものと確信しています。引き続き、台東区の元気のシンボルとして、活躍されることを期待しております。」とのご挨拶をいただきました。

その後、当センターの事業の発展に寄与された会員に対して、感謝状の授与式が執り行われ、区長より感謝状が授与され、会長より記念品が贈呈されました。

次に、ご来賓としてお越しいただいた台東区議会議長の河野純之佐様、東京都議会議員の中山寛之様、同じく保坂真宏様よりご祝辞をいただき、区議会保健福祉委員長の高橋早川太郎様、区福祉部長の吹澤孝行様、高齢福祉課長の齊藤明美様をご紹介いたしました。

定時会員総会は、野田沢仮議長(会長)が開会を宣言し、資格審査により総会が有効に成立していることの報告を受けた後、鈴木理事が議長に就任し、議事が滞りなく進められました。

提出された議案は全て承認され、併せて報告された事業報告も了承されました。

審議及び報告された議案等は、次のとおりです。

- ・ 監査報告
- ・ 第1号議案 平成29年度計算書類等の承認の件
- ・ 第2号議案 役員の選任の件
- ・ 平成29年度事業報告の件

感謝状が授与されました

定時会員総会で、次の皆様に感謝状が授与されました。誠に改めてとうございました。今後ともお元気でご活躍されることをお祈りいたします。(敬称略)

◎会員表彰(20年)

山崎 倭男、新津 圭吉、大塚 光子(以上3名)

◎会員表彰(10年)

小林 恒治、小山 マスヲ、玉広 照子、高橋 幸太郎、干場 京子、石原 弘文、安島 罔昭、市村 修、高橋 須美江、鈴木 隆幸、代田 照彦、川口 順子、野田 文子、西巻 満、津原 巖、木村 正子、沼野 嘉一、菊地 真佐子、佐々木 きく、小松 秀樹、種子田 健、石田 武夫、伊藤 桂子、宮澤 満里子、(以上24名)

◎役員表彰

石森 弘(以上1名)



新役員を紹介します

先に開催された今年度の定時会員総会及び臨時理事会において、次のとおり新しい理事と監事が決まりました。

なお、本間千晴氏は理事の職を、吉本由紀氏は監事の職を、今年度の定時会員総会の終結をもって退任されました。

役職	氏名	任期
理事 (常務理事)	太田 清明	平成30年6月26日から平成32年6月開催の定時会員総会終結まで (2年間)
監事	齊藤 明美	平成30年6月26日から平成34年6月開催の定時会員総会終結まで (4年間)

平成29年度決算

平成29年度の事業運営については、基本方針及び事業実施計画に基づき事業の普及啓発及び推進に努めるとともに、前年度から新たに実施した家事援助サービス事業の推進に加え、引き続き毛筆筆耕、パソコン、折り紙の各講習会の開催など就業開拓に資する活動を展開しました。

さらに、当法人は、公益社団法人として7年目を迎え、会員の豊富な知識や経験を活かして、会員の就業や社会奉仕活動に積極的に取り組んできました。

その実績は、年度末の会員数972人、年間就業率63.8%、受託件数(月延)2919件、就業延日人員7万7499人、配分金支給額約3億1

291万円、年間契約金額約3億3498万円でした。

前年度の実績と比べると、会員数3人減、年間就業率0.4ポイント増で、いずれもほぼ前年度並みとなっています。

一方、受託件数236件増、就業延人員3680人増、配分金支給額約1191万円増、年間契約額約1156万円増となり、家事援助サービス事業の実施によりいずれも大幅な増となりました。

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
経常収益	399,072,309円	8,546,812円	407,619,121円
受託事業収益	332,036,086円	1,623,463円	333,659,549円
独自事業収益	1,317,018円	3,982円	1,321,000円
受取会費	690,975円	230,325円	921,300円
受取補助金等	64,066,070円	6,683,930円	70,750,000円
受取負担金	315,000円	0円	315,000円
特定資産運用益	1,165円	82円	1,247円
雑収益	645,995円	5,030円	651,025円
経常費用	397,546,087円	8,546,812円	406,092,899円
事業費	397,546,087円	0円	397,546,087円
管理費	0円	8,546,812円	8,546,812円
当期経常増減額	1,526,222円	0円	1,526,222円
経常外収益	397,028円	9,867円	406,895円
固定資産売却益	8,477円	942円	9,419円
貸倒引当金戻入益	218,967円	0円	218,967円
退職給付引当金戻入益	169,584円	8,925円	178,509円
当期経常外増減額	397,028円	9,867円	406,895円
当期一般正味財産増減額	1,923,250円	9,867円	1,933,117円
一般正味財産期首残高	44,975,610円	3,243,858円	48,219,468円
一般正味財産期末残高	46,898,860円	3,253,725円	50,152,585円
正味財産期末残高	46,898,860円	3,253,725円	50,152,585円

お見舞い

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、犠牲となられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

7月は「安全・適正就業 強化月間」です

全国シルバー人材センター事業協会や東京しごと財団では、毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業対策の一層の推進を図ることとしております。

平成29年度の国全体での重篤事故は、前年度と比べ大幅な増加となっております。

当センターにおいても、昨年度、保険適用となった事故が6件発生しました。その内、就業途上での自転車利用による事故が4件になっているなど、自転車事故が多発しています。

安全管理委員会では、こうした状況等を踏まえ安全就業実施計画等を策定し、就業中や就労途上を問わず、安全就業に関する意識の啓発や就労現場の巡回指導の実施など、安全就労に関する対策を講じています。

皆さんご承知のとおり、災害時にはまず「自分の身は自分で守る」ことが原則となっております。就労も同様です。ルールを守り「無理をしない」「危険な作業をしない」等の意識を持つことが安全への第一歩です。

また、仲間の会員に対して、危ないと感じるようなことがあったら、進んで声をすることも大切です。

一人ひとりの会員や役員、そして事務局が一体となって、安全就業を組織全体の問題として捉え取り組んでいくことが重要です。

また、働くためには、健康であることが一番です。進んで健康診断を受診してください。

体力面で「自分はまだまだ大丈夫」と思っている方

も、この機会にご自身の体力等を見つめ直してみたいかがでしょうか。

健康で安全に働き続ける事ができるよう、皆さんで事故ゼロを目指していきましょう。

安全巡回指導がはじまりました

6月7日(木)から、安全管理委員による今年度の安全巡回指導が始まりました。

第一回目は、夏日を思わせるような天候のもと、植木の剪定、除草作業及び駐輪場管理を巡回いたしました。

就労現場を視察するとともに、就労中の会員からお話を伺い、皆さん安全を第一にルールを守りながら働いていることを確認出来ました。また、依頼主様からも高い評価をいただきました。

来年3月までに、12回実施する予定となっております。

皆さんの就労先にお邪魔した時は、ご協力をお願いいたします。



平成30年度安全就業標語 が決まりました

東京しごと財団では、今年度の安全就業標語を二つのテーマ別に次のとおり決定されました。

・テーマ1 健康の維持管理について

最優秀作品「無理しない 休む勇気で 事故防止」(調布市)

・テーマ2 各地の実情にあわせて設定したものの

最優秀作品「まだやれる もう少しだけは

休み時」(中野区)

来年度の標語募集が決まりましたら、皆様にお知らせいたしますので、是非ご応募ください。

会員百万人達成計画

シルバー人材センター連合本部や全国シルバー人材センター事業協会では、「一緒に活躍する仲間を増やして 会員百万人を目指そう」をスローガンに、会員増員計画を実施中です。

会員による「一人一会員入会」の取組、配偶者や友人・知人の勧誘などの取組を推進しています。

当センターでも、毎月第3木曜日に入会説明会を実施しているほか、随時、窓口や電話でのご相談に応じております。お知り合いに就労に意欲のある方がいらしたら、ぜひご紹介ください。



熱中症に注意しましょう

安全担当理事 佐橋 勝枝

里帰り てふも仕事や 明易し 稲葉 廣太郎
※「明易し」は夏の夜が早々と白むことの意味

いよいよ夏本番。熱中症の予防、注意の呼びかけが目立っています。日本の気温も右肩上がりの上昇中、今世紀末には亜熱帯化し、現在の気温よりも6・5度位高くなると言われています。

また、気温と体温の差が少なくなり、人間の体温も上昇します。熱中症対策については、外国では紀元前3〜4世紀から、日本では、明治時代になつてから陸海軍医が研究を始めていると本に記述されています。

人間の体は60%が水分です。1日平均2・5ℓの水分が必要とされています。食べ物で1ℓ、飲料水で1・2ℓ、体内で作られる水分が0・3ℓとされています。

排泄される分は尿等で1・6ℓ、睡眠中の発汗で0・5ℓ、入浴時間15分としてその発汗が0・8ℓとなります。さらにお酒を飲むと利尿作用により排出分が多くなります。

以上のことから、水分補給がいかに大切かお分かりいただけるかと思えます。就寝前、起床時、入浴前後、飲酒時の水分補給が必要になっていきます。

屋外の仕事や高温時には、皆様も注意して水分を摂るようにしていると思いますが、脱水や熱中症は室内でも起きるのです。特に年齢の高い方は、のどの渇きに気がつかない、食事量が少ない、

水分をあまり摂らない等の傾向があり、高温多湿、風が弱いなどで体温調節がうまくできず、体内温度が上り熱中症を起こしてしまうものです。屋外では激しい運動、労働によつても体内に著しい熱が生じたりするので、暑い環境に体が慣れてない場合も注意が必要だと思えます。

喉が渴いたと思つたら、すでに脱水が始まっているのです。また、隠れ脱水があります。屋内、運転中、夜間睡眠中に起こりやすいと言われていきます。

予防には、充分に睡眠をして、バランスの良い食事を摂り体調管理をする。また、休憩を取りこまめに水分を摂りましょう。衣類は、通気性の良い素材、襟元を開けられるものを着用することで体表面の熱気を出すことができます。作業に合わせた服装を心掛けましょう。汗を沢山かいたときは、水分だけでなく塩分や糖分も同時に摂ることが重要です。

スポーツ飲料には、体液と同じように塩分が含まれていますので、少しずつ摂り飲むのも良いでしょう。作業中、熱中症かなと思つたら、涼しい場所です安静にして衣類をゆるめ体を冷やす。スポーツ飲料等の水分補給が自分で摂取出来ず、意識がもうろうとしていたら、センターに連絡し、救急隊を要請し医療機関に搬送してもらおう。

作業中に、めまい、頭痛、はきけ、足がつる、汗が出なくなる等の症状が出たら体内温度が高くなつているので、スポーツ飲料等で水分補給をして、涼しい所で休憩しましょう。

作業開始前に水分摂取しましょう。

平成30年度接遇研修の開催について

7月11日より全8回の予定で接遇研修を開催いたします。接遇研修には、これまでに371名の就業会員さんが受講しています。

接遇は、仕事をしていく上で大変重要な要素です。どんなに良い仕事をしていても、接遇が良くないと発注者から高い評価は得られません。

また一緒に仕事をしている仲間に対しても同様です。

気持ち良く仕事をして、仕事後の充実感を得るためには、接遇は必要不可欠です。

今年度の講師は、他のシルバー人材センターでも講師を務めている経験豊富な方です。

今年度、対象となる方には事務局よりお知らせをお送りいたしますので、是非受講してください。

理事会だより

第1回理事会 (平成30年4月24日開催)

審議事項

- (1) 新規入会について
- (2) 特別会員の推薦及び承認について
- (3) 平成30年度第1回補正予算について

協議事項

- (1) 定時総会の役割分拍等について

報告事項

- (1) 平成30年3月分事業実施状況について

第2回理事会 (平成30年5月22日開催)

審議事項

- (1) 新規入会について

- (2)平成29年度事業報告について
- (3)平成29年度決算について
- (4)役員の選任について
- (5)平成30年度定時会員総会について

協議事項

- (1)会員表彰について

報告事項

- (1)定款第24条第5項による職務の執行状況報告について
- (2)平成29年度監査報告について
- (3)総会における議決権の代理行使(委任状)について
- (4)平成30年4月分事業実施状況について

第3回理事会 (平成30年6月12日開催)

協議事項

- (1)平成30年度定時会員総会の運営について
- (2)安全リーダー研修会等への出席について

報告事項

- (1)平成30年5月分事業実施状況について
- (2)臨時理事会開催について
- (3)シルバー派遣事業所開設準備スケジュールについて

臨時理事会 (平成30年6月26日開催)

審議事項

- (1)常務理事の選任について
- (2)新規入会について

委員会だより

第1回総務・広報委員会

(平成30年5月10日)

・議題

- (1)定時総会次第及び進行担当等について

- (2)会員表彰等について
- (3)定時総会記念品の選定について

第2回総務・広報委員会

(平成30年6月21日)

・議題

- (1)センターだより7月号について

第1回安全・管理委員会

(平成30年5月9日)

・議題

- (1)平成30年度安全就業巡回指導について
- (2)平成30年度安全対策実施計画の実施状況について

事務局職員の異動

4月1日付けで人事異動がありました。

〔転入〕

役職	氏名	前職
局長	太田 清明	台東区芸術文化財団事務局長
次長	木村 隆明	台東区社会福祉事業団児童課長
主任	原田 祐和	台東区高齢福祉課
主事	田中 裕輝	新規採用

〔転出〕

役職	氏名	前職
前局長	本間 千晴	退職
前次長	姫野 薫	書道博物館館長
前主任	横田 浩次	金杉区民館下谷分館



左から 原田主任、太田局長、木村次長、田中主事

※転入者から一言ご挨拶

太田局長：「会員の皆様が、より一層元気に活躍できるよう、事務局長として一生懸命頑張っております。どうぞよろしくお願いたします。」

木村次長：「シルバーが設立された頃、区役所の関連部署にありました。その縁もあり、この度お世話になる事になりました。よろしくお願いたします。」

原田主任：「2年間の研修中、決して楽をしていた訳ではありませんが、体重が7kgも増えてしまいました。今後、仕事もダイエットも頑張ります。」

田中主事：「カンボジアに行った際、地雷原と知らず散歩し生還した経験があります。皆様と一緒にお仕事が出来た事を心より嬉しく思います。」

会員ひろば

折り紙塾が開催されました

6月26日(火)午前10時より、当センター会議室において会員を対象とする折り紙塾が開催されました。毎回、時季に応じたテーマを設定しており、今回は「七夕」がテーマでした。月に1回のペースで楽しみながら学んでいきます。
是非、参加してみたいという方は事務局にご相談ください。



パソコン講座

毎月、60歳以上の区民を対象にパソコン講座を開催しています。7月は「iPad・iPhoneの活用」と「Androidの活用」の2つの講座です。その他、参加者の相談にお答えする「パソコン無料よろず相談」も実施しています。詳しくは台東区の「広報たいとう」をご覧ください。

毛筆筆耕講習会が開かれました

6月12日(火)午前10時より、小島社会教育館において毛筆筆耕講習会が行われ、33名の方が参加されました。
今回は慶弔用語を内容とした講習で、参加された皆さんは真剣に取り組んでいました。
原則、毎月開催しております。参加してみたいという方は事務局までご相談ください。



未就業会員の方へ

今年も9月にシルバークラスの交付事務があります。募集人員は25名で、お1人5日程度の就業を予定しています。お申し込みは7月31日(火)までです。また、就業される方には8月20日(月)開催の事前説明会への参加が必要です。

なお、希望者多数の場合は、抽選となりますのであらかじめ承知おきください。
申し込み、問い合わせは事務局まで。

投稿写真 皆様からの投稿をお待ちしています。



シンシン(母)



リーリー(父)



シャンシャン



シャンシャン



上野動物園にて
(藤川 實さん撮影)

※会員の皆様方からの投稿をお待ちしています。
ふるって応募ください。